

**石垣市内の客引き行為等の対策強化を求め要請決議**

提出者 長山 家康

要旨

安心安全で住みよい生活環境は住民の願いである。主要経済指標より本市の産業構造は第三次産業が市内総生産の実に83%を占め、その内、飲食等のサービス業が約30%となっており、近年の観光客の著しい増加により、今後更に主要産業として位置付けられる。

しかしながら、市内の中心飲食街においてキャッチと呼ばれる執拗な客引き行為や客待ち行為、勧誘行為が常態化するなど、市民や観光客に大きな不安や迷惑を与えている。国内最南端のリゾートエリアランドとして国内外から多くの観光客が訪れる石垣市においてこのようない部分の心ない者の行為は本市観光のイメージダウンにもなりかねず、特に最近増加している外国人観光客にとってはなれない外国の地という事で、

この様な客引き等の行為は国際観光都市を目指す本市にとって憂慮すべき事態である。

よって、本市議会は市民が安心して暮らせる秩序ある生活環境の実現及び観光客が安心して飲食を楽しめる為にも、関係法令及び県条例に基づき、これらの悪質な客引き等の行為を厳しく取り締まるとともに、地域及び関係団体と連携し、より一層防犯対策を強化するよう要請する。

○提出先 沖縄県知事、沖縄県議会議長、地元地区選出沖縄県議会議員

(結果) 全会一致で可決



イメージダウンになりかねない客引き行為(写真はイメージです)

**尖閣諸島の字名変更を求める決議**

提出者 仲間 均

要旨

尖閣諸島は我が国固有の領土であり、石垣市の行政区域であることは紛れもない事実である。現に地籍も沖縄県石垣市字登野城2390番地から2394番地とされている。

領土は先人から受け継いできた大切な財産であり、後世に責任を持って保存活用していくためにも、尖閣諸島を行政区域として預かる石垣市行政当局及び石垣市議会が適切な政策を講ずることが必要不可欠である。

しかしながら、尖閣諸島において、日本政府は、領土問題は存在しないとされているが、取り巻く環境は厳しい中で何ら対策が講じられない現状を憂うものである。よって、本市議会は、尖閣諸島の字名を沖縄県石垣市字登野城尖閣とするよう決議する。

(結果) 賛成多数で可決

**平成30年度 行政視察報告**

**経済民生委員会**

経済民生委員会(大石行英委員長)は、5月8日から3日間の日程で神奈川県三浦市、東京都大田区で行政視察を行いました。

三浦市においては、4月に開設された三浦市低温卸売市場の現場視察と水産業・漁港を核とした振興ビジョンについて説明を受けました。三浦市は時代の要請である品質・衛生管理の徹底と「三崎まぐろ」ブランド力強化のため、日本初の超低温冷凍マグロ用に最適化した三浦市低温卸売市場が、新たに建設されており仲買人による超低温マグロの品質強化(目利き)が行われる陳列場照明の仕様は、従前同等の見え方を確保されているなど徹底した品質衛生管理と作業効率向上を両立してるとのことでした。

また水産業・漁港を核とした振興ビジョンについては、三崎漁港のある三崎下町・城ヶ島地区は、年間300万人の観光客を集める一大観光地であることから



三浦市低温卸売施設内での説明を受ける様子

地の利を生かして、漁業への理解や魚食の普及促進を図る取組みを進めるとともに、その魅力を向上させて地域や地産地消や水産業の活性化につなげていき、また観光客の回遊性を向上させることにより地域全体のにぎわいを高めていくとのことでした。

次に、大田区では大田区待機児童解消緊急加速化プランについて説明を受けました。大田区では、増加する保育ニーズに対応するため、平成26年度に大田区待機児童解消緊急加速化プランを策定し、保育サービステルを1,049名拡充するなど基盤の拡充を図るとともに、多様な手法を用いた待機児童解消対策を実施してまいりました。